

設計変更理由書

神戸市

工 事 名	税関線東側歩道拡幅工事
<p>【工事概要】</p> <p>施工延長 L=459m</p> <p>道路土工 1 式、構造物撤去工 1 式、排水構造物工 1 式、舗装工 1 式、 標識工 1 式、道路附属物工 1 式、仮設工 1 式</p>	
<p>契約変更の理由</p> <p>①当初、植栽周辺の整備については、本工事に続く歩道美装化工事で次年度実施予定であったが、整備計画の変更等によりおよそ5年間先送りとなり、長期耐久性や景観性に配慮した対応を行う必要が生じたため、植栽と仮舗装部の端部処理を、土嚢から土留め材および改良土に変更した。</p> <p>②排水施設の整備にあたり支障となるバス停の仮移設について、バス事業者との協議の結果、仮移設先と既設バス停との距離がやや離れることとなった。 このため短期間で移設を繰り返すと利用者に混乱を生む懸念があり、仮移設先の供用期間が当初の想定よりも長くなった。 これに伴い、仮バス停での乗降をしやすいくするため、歩道部をマウンドアップする仮舗装を行う必要が生じた。また、新設車道舗装部と既設車道舗装部の横断勾配が大きく、バス運行時の車体の揺れが大きくなる懸念が生じたため、本設バス停の舗装の擦り付け位置を車道側に拡大する必要が生じた。これらの変更により舗装工が増工となった。 その他、歩道美装化工事の先送りに伴い本設バス停の点字シート設置等の対応が必要となった。</p> <p>③兵庫県警との公安委員会協議の結果、ガードレール等安全施設の設置や中央分離帯の改築等の道路附属物工および区画線工の追加が必要となったため、増工となる。</p>	